

顕現後第2主日特祷

全能の神よ、あなたは永遠のみ言葉であるみ子の受肉のうちに、まことの道を現されました。どうかわたしたちを導き、全人類の救いの基である主に、すべてをゆだねさせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 62章1－5節

62:1 シオンのために、私は口を閉ざさず、エルサレムのために、私は沈黙しない。その義が光のように現れ、救いが松明のように燃えるまで。2 国々はあなたの義を見、王たちは皆、あなたの栄光を見る。あなたは、主の口が定める新しい名で呼ばれる。3 あなたは主の手の中で誉れある冠となり、神の手のひらの上で王冠となる。4 あなたは二度と「捨てられた女」と、言われることはなく、その土地は二度と「荒廃した地」と、言われることはない。あなたは「私の喜びは彼女にある」と呼ばれ、その土地は「夫を持つ者」と呼ばれる。主の喜びがあなたにあり、あなたの土地は夫を得るからである。5 若者がおとめの夫となるように、あなたの子らがあなたの夫となり、花婿が花嫁を喜びとするように、あなたの神はあなたを喜びとする。

詩 編 第36編5－10節

- 5 主よ、あなたの慈しみは天にあり || あなたのまことは雲にまで及びます
- 6 あなたの正義は神の山々のよう、あなたの公正は大いなる深淵 || 主よ、あなたは人も獣も救ってくださいます
- 7 神よ、あなたの慈しみはなんと貴いことでしょう || 人の子らはあなたの翼の陰に逃れます
- 8 彼らはあなたの家の豊かさによって満ち足り || あなたの喜びの川に渴きを癒やします
- 9 命の泉はあなたのもとにあり || あなたの光によって、私たちは光を見ます
- 10 あなたを知る人にあなたの慈しみを || 心のまっすぐな人に、あなたの正義を絶えず注いでください

使徒書 コリントの信徒への手紙一 12章1－11節

12:1 さて、きょうだいたち、霊の賜物については、次のことをぜひ知っておいてほ

しい。2 知つてのとおり、あなたがたは、まだ異邦人だったとき、誘われるままに、ものの言えない偶像のもとに連れて行かれました。3 そこで、あなたがたに言うておきます。神の霊によって語る人は、誰も「イエスは呪われよ」とは言わず、また、聖霊によらなければ、誰も「イエスは主である」と言うことはできません。

4 恵みの賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。5 務めにはいろいろありますが、仕えるのは同じ主です。6 働きにはいろいろありますが、すべての人の中に働いてすべてをなさるのは同じ神です。7 一人一人に霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです。8 ある人には、霊によって知恵の言葉、ある人には同じ霊に応じて知識の言葉が与えられ、9 ある人には同じ霊によって信仰、ある人にはこの唯一の霊によって癒やしの賜物、10 ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。11 しかし、これらすべてのことは、同じ一つの霊の働きであって、霊は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。

福音書 ヨハネによる福音書 2章1－11節

2:1 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。2 イエスとその弟子たちも婚礼に招かれた。3 ぶどう酒がなくなつてしまつたとき、母がイエスに、「ぶどう酒がありません」と言つた。4 イエスは母に言われた。「女よ、私とどんな関わりがあるのです。私の時はまだ来ていません。」5 母は召し使いたちに、「この方が言いつけるとおりにしてください」と言つた。6 そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三メートル入りのものである。7 イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。8 イエスは、「さあ、それを汲んで、宴会の世話役のところへ持つて行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行つた。9 世話役が水をなめてみると、ぶどう酒に変わつていた。それがどこから来たものなのか、分からなかつたので——水を汲んだ召し使いたちは知つていたが——、世話役は花婿を呼んで、10 言つた。「誰でも初めに良いぶどう酒を出し、酔いが回つた頃に劣つたものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取つておられました。」11 イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。